

保幼小連携だより No.21

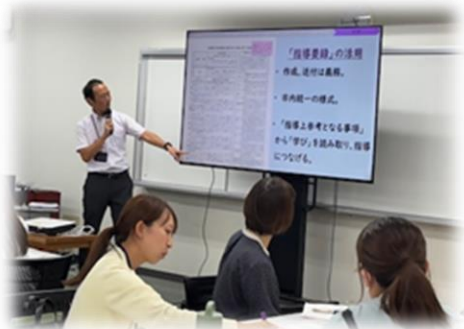
保幼小連携だよりでは、『宗像市幼児教育振興プログラム』に基づく保育所・幼稚園・認定こども園と小学校・義務教育学校との連携のための取り組みを紹介します。（市のHPにも掲載しています。）

（発行元）宗像市 子ども子育て部 子ども育成課 Tel.0940-36-3181

○第2回 幼児教育と小学校教育の円滑な接続に関する研修会

9月9日に宗像市役所で宗像市保育所保育士・幼稚園教諭・保育教諭・小学校教諭研修会を開催しました。対象者は市内の保育園・幼稚園・認定こども園の年長児担任、小学校の一学年担任を中心に42名が参加しました。

幼児教育アドバイザーであり、福津市神興幼稚園の現任教諭でもある吉迫務氏を講師に迎え、「幼児期の大切な学びを小学校教育につなげるために」というテーマの講義と意見交換を行いました。また、福津市のアプローチカリキュラムやスタートカリキュラムを参考に、子どもの育ちの連続性を理解しながら、幼児教育と小学校教育の充実を図ることができました。



「アプローチカリキュラムがとてもわかりやすく、自園でも活用したいと思った」～園の先生より～



「幼児期の終わりまでに育てほしい姿」についてわかりやすく説明



年長児の後半の子どもの姿と1年生の4月の子どもの姿を出し合う先生方

～代替研修～

6月に福岡教育大学附属幼稚園で開催予定の第1回 幼児教育と小学校教育の円滑な接続に関する研修会は感染症を伴う教員等の体調不良のため中止となりましたが、毎年11月に開催されている幼児教育公開研究会のオンデマンド視聴を代替研修として実施しました。同研究会では、公開保育のあと、公開トークやグループトーク、シェアタイムも行われました。

市内の園と小学校の9施設が参加し、視聴された先生からは「日々の保育が繋がっていて楽しそうだと感じた」という感想がありました。

研究主題「安心して自己を発揮する幼児を育む保育」

「安心して」とは

教師・保護者・周囲の大人・友達からありのままの姿を受け入れられる信頼関係のもと、幼児が不安なく過ごして…ということの意味する。

「自己を発揮する幼児」とは

自分の感情や意志、考えを様々な方法で表出・表現する幼児



～福岡教育大学附属幼稚園～

○第3回 幼児教育と小学校教育の円滑な接続に関する研修会

1月30日に東郷信愛幼稚園で宗像市保育所保育士・幼稚園教諭・保育教諭・小学校教諭研修会を開催しました。対象者は市内の保育園・幼稚園・認定こども園の年長児担任、小学校の一学年担任を中心に32名が参加しました。

宗像市教育委員会社会教育主事から、参観前に保育参観の視点について説明を聞くことで、とても有意義なグループワークとなりました。

園と小学校からそれぞれ持参したアプローチカリキュラムとスタートカリキュラムを共有し、子どもの姿にあてはめながら、相互理解を深めることができました。



「子どもたちが安心して生活していて、温かい空気が園全体にあった」 ～小学校の先生より～



グループワーク

- ①共有
小学校の学びにつながると感じた子どもの姿を出し合う。
- ②分析
どのような環境の工夫や言葉かけがあったか話し合う。
- ③検討
アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムでどのように活かせるか検討。
- ④まとめ・発表
明日から大切にしたいことを一言ずつ共有。

参加者の声

- ・園での生活とあそびがどのように小学校につながっているか確かめることができた。
- ・色々な角度から感想を交換でき、よい学びとなった。
- ・子どもたちの経験の具体例が分かりやすく、保育の見通しができてよかった。



～東郷信愛幼稚園～

教育方針

- 🌸 見えないものを大切に
- 🌸 ころよくまで遊ぼう

6年ぶりに実施した統一入学説明会！

宗像市では、入学説明会の日程を統一し実施することにより、保育所・幼稚園・認定こども園の年長児が小学校へ行くことを促進し、連携・接続の充実を図ることを目的として実施しています。

市内の保育所・幼稚園・認定こども園の先生方50名が各小学校に訪問しました。

4月から小学1年生！



わくわく♡どきどき